

令和2年度授業改善推進プラン

清瀬市立 小学校第2学年

| | 授業における課題や学力調査資料から見えた課題 | 授業改善のための具体策 | 成果と課題(年度末) |
|------|--|---|------------|
| 国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・促音、拗音、長音、助詞「は」「を」「へ」の使い方の定着が不十分な児童が3割程度いる。 ・既習の漢字について、正しく書くことが身に付いていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・促音、拗音、長音、助詞が含まれる文章の視写や、日記や感想文など、文章を書く活動をより丁寧に指導すると共に、書いた文章を自分で読み返す指導を行う。 ・新出漢字の学習の際に、しっかりとした字形で書けるよう指導する。 | |
| 算数 | <ul style="list-style-type: none"> ・加法・減法の計算において、繰り上がり・繰り下がりの習熟が充分でない児童が3割程度いる。 ・単位換算が苦手な児童が7割程度いる。 ・文章題を正確に読み取り、意味を理解することが難しい児童が2割程度いる。式の意味を理解することが苦手な児童が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> ・朝学習や宿題プリントを活用し、一人一人の学習状況を見取る。個別指導を行うことで基礎・基本の計算を定着させる。 ・式が表す場面を考えさせる活動を取り入れる。 ・簡単な数字に置き換えたり、図に表したりして、問題文の内容を具体的にイメージさせる。 | |
| 生活 | <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで使うものを大切に、安全に、正しく使うなどの公共の意識を育てていく。 ・地域や社会に直接関わる体験が不足している。 | <ul style="list-style-type: none"> ・公共物や公共施設を積極的に利用していく。その中で、ルールやマナーを身に付けさせ、公共の意識を育てていく。 ・学校探検や校外探検を軸にしなが、関心をもったことについて、見る、聞く、触れる、探すなどをして直接追究する活動を設定する。 | |
| 音楽 | <ul style="list-style-type: none"> ・鍵盤ハーモニカの演奏において、思いに合った表現をするために必要な、音色に気を付けて演奏する技能が不十分な児童が多い。 ・歌唱において、思いに合った表現をするために必要な、階名で模唱したり暗唱したりする技能が苦手な児童が3割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・一つの曲を様々な音色で演奏する活動を取り入れることによって、音色に気を付けて演奏する機会を増やし、技能が身に付くようにする。 ・新曲に取り組む際に、歌詞だけでなく階名で模唱したり暗唱したりする機会をつくり、階名唱に慣れさせる。 | |
| 図画工作 | <ul style="list-style-type: none"> ・絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したことから表したいことを見付けることが苦手な児童が4割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・指導計画に応じ、用具の使い方を段階的に指導し、確実に基礎的スキルを身に付けさせ、表現の幅を広げていく。 ・色々な向きで見せて見方を変えたり、使いたい色や、表し方を選択させたりして、児童の思いを作品につなげられるように、状況に応じた指導を行う。 | |
| 体育 | <ul style="list-style-type: none"> ・ゲームのルールなど、決まりを守って活動することが難しい児童がいる。 ・基本的な体の動かし方に不慣れな児童が3割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・活動前に全体でルールの確認を行う。また、活動中にも教師から声かけを行い、児童が共通認識をもち活動できるようにする。 ・体づくり運動や体ほぐし運動等で、様々な動きを取り入れ、走・跳など基本的な動きを身に付けさせていく。 ・コーディネーショントレーニングを通して、体をイメージ通りに動かすことができるようにする。 | |
| 道徳 | <ul style="list-style-type: none"> ・資料から学ぶ道徳的価値に対する気付きはあるが、意見の交換から、改めて自身の思いを深めることに課題が見られる。 ・終末において、自分事として考える際、ワークシート等に未記入の児童が2割程度いる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見をしっかりと聞くこと、友達の意見と自分の考えとの相違点を考え、一度その考えを吟味するなどの時間をしっかりととっていく。 ・その時間に扱う価値項目と、終末の発問・説話等が合致しているかを改めて考えながら授業と行っていく。 | |

※ 枠の大きさは適宜調整して、1枚に収まるように作成してください。